

五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2021年2月19日

Retailers and Uber are Step In to Speed Up Covid-19 Vaccine Rollout

バイデン大統領は就任後 100 日間で 1 億回のワクチン接種を普及させることを目標に、できる限りの予算を投じ、そのスピードアップをさせるという大統領命令に署名しました。

米国疾病予防管理センターCDCによると、先週までに約 4,500 万回の接種を終えています。

そして米国最大のドラッグストアチェーン Walgreens は連邦政府プログラムの一環として、実店舗で優先度の高い高齢者（州によって異なりますが現在は 65 歳以上）から順番に接種を開始する予定です。



DR. WALK-IN
medical care

**Located near
the pharmacy.**

- Treats common ailments, routine screenings, physicals and minor injuries.
- Most insurances accepted.

For more information
call 1-888-535-6963



DUANEreade | *Walgreens*

同様に店内でドラッグストアを所有する小売業者は、3月下旬または4月上旬までに接種を全国展開にするため、大量のワクチン確保に奔走しています。

また Walmart、CVS、Walgreens では貴重なワクチンの余剰用量を無駄にしない方法を模索しています。

ワクチンはバイアルを冷蔵から取り出し数時間以内に投与する必要があります。予約の延期やキャンセルでのワクチン廃棄処分を避けるため、従業員や接種対象外の人々の中から接種希望者の為の待機リストの作成に着手し始めました。

カリフォルニア州では感染者の多い地域を割り出し、接種した地域と人種別の統計を一般に公表し、平等に接種と感染対策が行き届くように動き始めました。



その状況の元、オンデマンドの配車サービス業界トップの Uber は、Walgreens と提携しワクチン接種の予約者を最寄りの Walgreens まで連れていく無料送迎サービスを始めました。

Uber の最高経営責任者のコスロシャヒ氏は、「交通手段の有無がヘルスケアの障壁になることを決して容認してはいけない。私たちは Walgreens と構築するこのエキサイティングな新しいパートナーシップを Uber が持つプラットフォームの力を利用し、我々全員で協力し、より多くの人々をワクチン接種へと繋げ、一日も早くパンデミックを終了させる手助けを行うのだ。」と語っています。

この提携プログラムは、シカゴ、アトランタ、ヒューストン、テキサス州エルパソで今週から同時スタートし、その後はさらに多くの都市に拡大していく計画です。

Uber はワクチン接種の送迎に最大 1,000 万回の無料または割引乗車を提供するこの大きなプログラムへ精力的に取り組めます。

Walgreens では接種の予約をした際、Uber の乗車を事前にスケジュールする方法を取り、接種に対して躊躇する人たちへの教育プログラムも行う予定です。



昨年の3月に起きたロックダウン以来、旅行や出張などの人々の移動が減少した結果、Uberを始めとする配車サービスは苦戦を強いられています。

食事の出前サービス Uber Eats や宅配も行っていますが、従来の人を乗せる配車サービスと比べればコロナ前の収入に戻すのは困難なようで、近頃はUberで働く事を諦める人も多いと報道されています。

接種の為にUberを使用する人はお金を払いませんが、運転手には手当てが別に支払われますので、国からの補助が出る形になります。

またアメリカ人はチップを払う慣習があるので、車代が無料だからと“心付け”をはずむ人も中には出てくるだろうという予測です。

ドライバーは収入に繋がるだけでなく、医療関連に関わると一般人に比べて、優先的に接種出来る予定で、そのためドライバーになる人も増える可能性もあり、Uberにとっても雇用の確保に繋がり相乗効果となります。

高齢者や身体の不自由な方々にとって送迎サービスは非常に有難く、接種後のアレルギー反応で、起こるかもしれない体調の乱れを懸念し、自分で運転して会場まで行きたくない人にとって、このプログラムはワクチン接種のスピードアップに繋がります。